

古今京大

ここんきょうだい

1 「二番目の大学」 として

— 京都帝国大学における「大学」像の模索 —

日時：2019年 11月16日(土)
13:30 ~ 15:00

講師：西山 伸 (にしやま しん)
京都大学大学文書館教授

専門は日本近現代史。京都大学百年史編集史料室助手として「京都大学百年史」の編集に関わり、2001年に大学文書館に就任。京大に関する膨大な文書を整理・保存し公開する業務と共に、京大の歴史について多方面で講演を行う。共著に『知の伝達メディアの歴史研究—教育史像の再構築—』（思文閣出版）、共編著に『京都大学百年史』（全7巻）、『京大生・小野君の占領期獄中日記』（京都大学学術出版会）ほか。

日本で二番目に設立された帝国大学であり、西田幾多郎も活躍した京都大学、通称「京大」。現在でも多くの学者や学生が集まる、日本有数の大学です。東京大学に比べると「自由の学風」というイメージを持っている人も多いかもしれませんが、そもそも京大って、どんなところなのでしょう？
どんな背景で設立され、どうして「自由の学風」というイメージが生まれたのでしょうか。そして現状はどのように変化しつつあるのでしょうか。京大の今昔を通して、「大学」という学問の場について考えてみませんか。



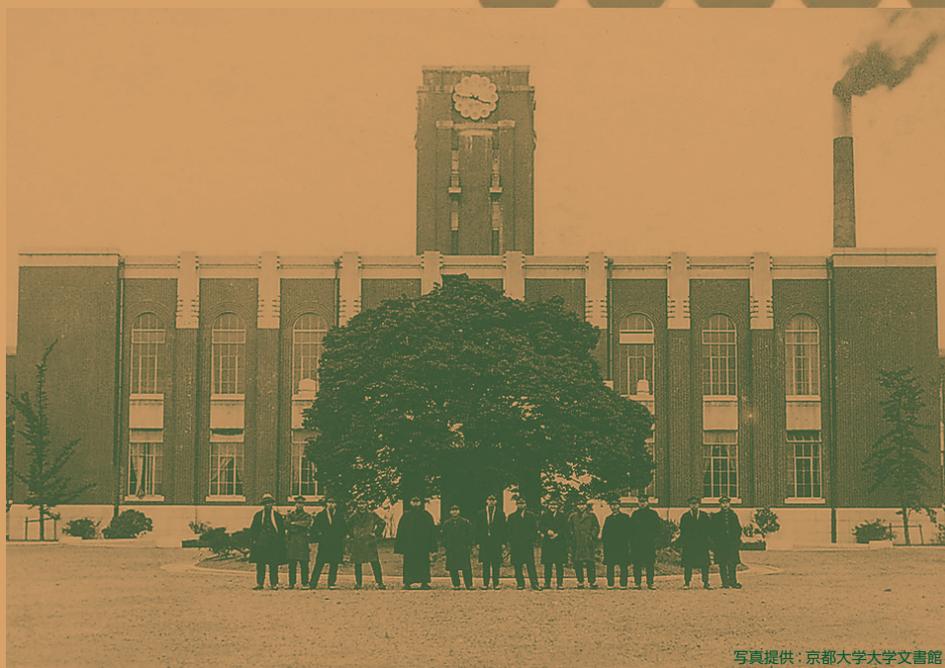
2 京大的アホが なぜ必要か

— 「大学」はどうあるべきか —

日時：2019年 11月30日(土)
13:30 ~ 15:00

講師：酒井 敏 (さかい さとし)
京都大学大学院人間・環境学研究科教授

専門は地球流体力学。2017年から連続講義「京大变人講座」を開講し、自身も「カオスの闇の八百万の神—無計画という最適解—」をテーマに登壇し学内外に大きな反響を呼んだ。著書に『京大的アホがなぜ必要か—カオスな世界の生存戦略—』（集英社新書）、『都市を冷やすフラクタル日除け—面白くなくちゃ科学じゃない—』（成山堂書店）ほか。



写真提供：京都大学大学文書館

いずれも申込不要、参加費無料

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1

TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320

URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>

E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■facebook でもイベント関連情報を随時更新しています。



観覧時間 ■ 9:00 ~ 17:30 (入室は17:00まで)

休館日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12月29日~1月3日)

観覧料 ■ 一般300円 / 高齢者 (65歳以上) 200円 / 高校生以下無料

交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC]—国道159号線 (約20分)

のと里山海道 [白尾IC]— (約5分)

【JR利用】金沢駅—IRいしかわ鉄道線・七尾線 (約25分)—宇野気駅—

—徒歩 (約20分)—哲学館

